



HOKKAN HOLDINGS

ホッカンホールディングス決算説明会

証券コード: 5902



2016年12月1日

ホッカンホールディングス株式会社

目次



代表取締役社長 工藤 常史

2017年3月期第2四半期決算概要及び通期見通し

2017年3月期第2四半期決算&通期業績予想	・・・	3
事業進捗報告	・・・	4

【参考】経営成績

要約連結貸借対照表	・・・	17
要約連結損益計算書	・・・	18
要約連結キャッシュフロー計算書	・・・	19

常務取締役 山崎 節昌

2017年3月期第2四半期決算及び財務状況詳細

ホックングループ紹介	・・・	6
セグメント別概要	・・・	7
連結損益計算書	・・・	11
連結貸借対照表	・・・	12
連結有利子負債の推移	・・・	13
連結キャッシュフロー計算書	・・・	14
連結設備投資	・・・	15

【参考】会社概要

プロフィール	・・・	21
経営理念	・・・	22
本社と各社工場	・・・	23
沿革	・・・	24
お問合せ先	・・・	25

2017年3月期 第2四半期決算概要 及び通期見通し

2017年3月期 第2四半期決算 & 通期業績予想



2017年3月期 第2四半期決算

単位：百万円、%

	2016年9月期		2015年9月期
		前年同期比 伸び率	
売上高	66,322	3.5	64,049
営業利益	6,621	74.0	3,804
経常利益	7,505	71.4	4,378
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,921	89.9	2,592

■ 決算概要

売上高は充填事業、機械製作事業における販売伸長を受け増加。
営業/経常/純利益については固定費削減、エネルギーコスト良化、投資有価証券売却益計上等により増益。

2017年3月期 業績予想

単位：百万円、%

	2017年3月期		2016年3月期
	通期見通し	前期比 伸び率	
売上高	120,000	0.1	119,923
営業利益	6,100	32.8	4,593
経常利益	7,200	25.6	5,732
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,000	18.2	3,384

■ 通期見通し

容器充填事業共に不透明な市場環境が継続すると予想。上期業績を反映しつつも通期見通しについては慎重な姿勢を維持。

日本キャンパック 新無菌充填ライン導入決定

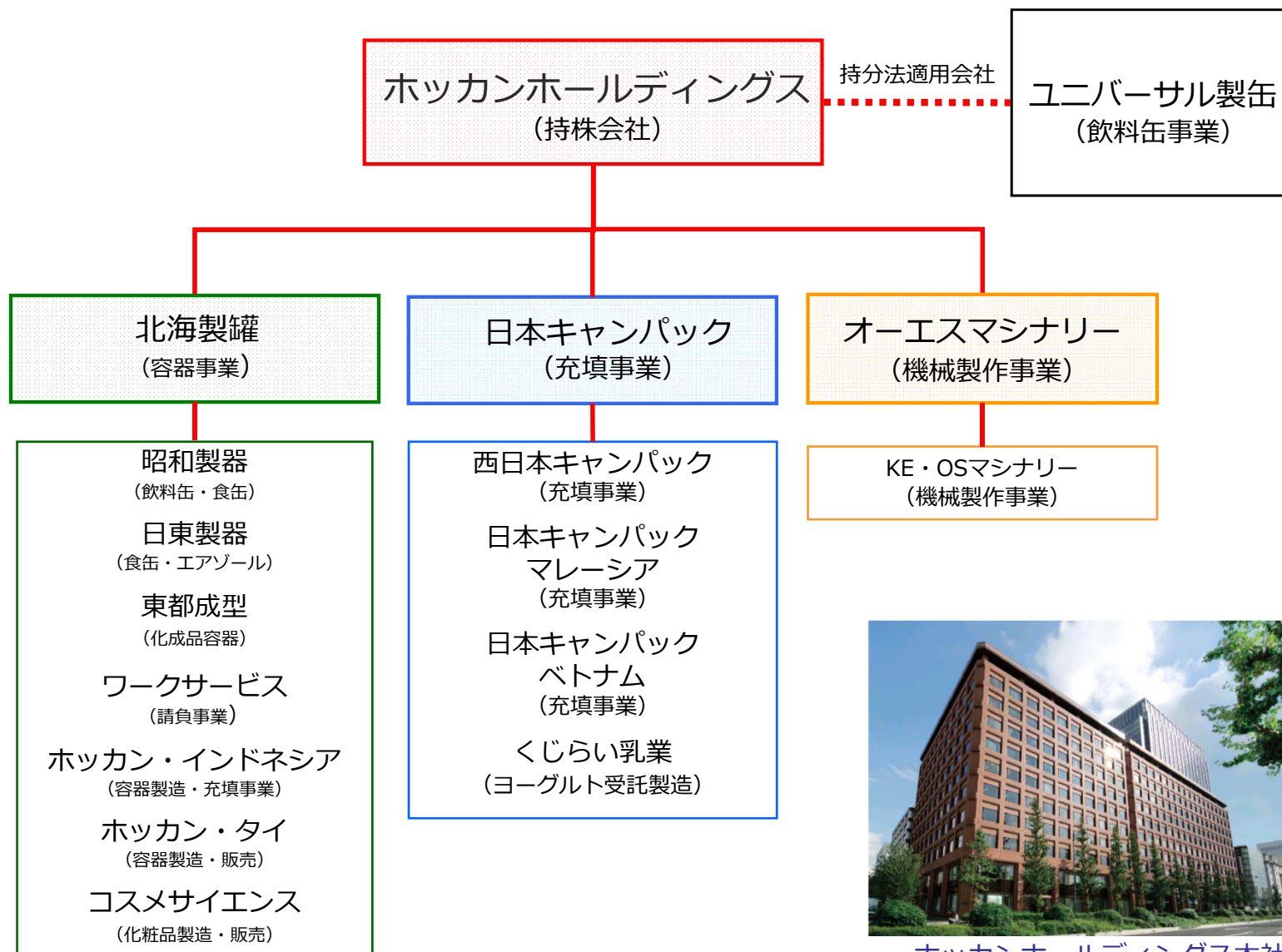
- 2017年11月 商業生産開始（予定）
- 赤城工場において老朽化した生産ラインを最新鋭の無菌充填ラインへリニューアル
- 年間生産能力：約800万ケース
- 投資額：約40億円
- 小型、大型PET兼用かつ通常の清涼飲料に加えて炭酸飲料も製造可能な生産ラインの為、効率的な生産が可能



日本キャンパック 赤城工場 空撮図

2017年3月期 第2四半期決算及び 財務状況詳細

ホッカン・グループ紹介



ホッカンホールディングス本社

セグメント別概要①



スチール缶事業	飲料用スチール缶	缶コーヒーの好調な販売	前年度比プラス
	農産缶詰	台風被害によるスイートコーン缶の減産	前年度比マイナス
	水産缶詰	原料不足、製品価格高騰の影響	前年度比マイナス
	エアゾール缶	殺虫剤、家庭用製品の好調な販売	前年度比プラス
	美術缶	新商品の受注による好調な販売	前年度比プラス
プラスチック事業	飲料用ペットボトル	お客様による内製化の影響 夏場の天候不順の影響	前年度比マイナス
	プリフォーム	積極的な営業活動	前年度比プラス
	食品用プラスチックボトル	新規開発ボトルの好調な販売	前年度比プラス
	一般成形品	化粧品用およびBIBの販売不調	前年度比マイナス

容器事業：売上高 21,634百万円 前年同期比 ▲1.1%

セグメント別概要②



充 填 事 業	缶製品	炭酸ライン閉鎖の影響	前年度比マイナス
	大型PET	大型・小型兼用ラインにおける生産調整の影響	前年度比マイナス
	小型PET	積極的な営業活動	前年度比プラス

充填事業：売上高 40,436百万円 前年同期比 +4.6%

機 械 製 作	機械製作	自動車部品生産機械受注 リチウム電池製造設備受注	前年度比プラス
	エンジニアリング	グループ内向け受注の減少	前年度比マイナス

機械製作事業：売上高 1,505百万円 前年同期比 +92.6%

セグメント別概要③



その他	インドネシア事業	新規顧客の獲得による順調な販売	前年度比プラス
	ベトナム事業	一部得意先の販売減少	前年度比マイナス
	構内作業	安定的な運営	前年度並み
	化粧品事業	新規・既存の得意先への順調な販売	前年度比プラス

その他：売上高 2,745百万円 前年同期比 +0.3%

セグメント別概要④



単位：百万円

	2016年9月期				2015年9月期			
	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他	容器 事業	充填 事業	機械 製作	その他
売上高	24,525	40,436	2,346	3,520	24,975	38,657	1,746	3,493
外部顧客向け	21,634	40,436	1,505	2,745	21,872	38,657	781	2,738
セグメント間	2,891	—	841	775	3,102	0	964	755
営業利益	1,970	5,075	96	26	995	3,494	▲21	▲93
消去	546				570			
連結	6,621				3,804			

営業利益

- 容器事業：固定費削減、猛暑効果、エネルギーコスト良化等により増益
- 充填事業：受注数量増加、猛暑効果、エネルギーコスト良化等により増益
- 機械事業：外部向け販売の拡大により増益
- その他事業：インドネシア事業の増益等が貢献

連結損益計算書



単位：百万円、%

	2016年9月期			2015年9月期	
		百分比	前年同期比 伸び率		百分比
売上高	66,322	100.0	3.5	64,049	100.0
売上原価	52,775	79.6	▲1.6	53,640	83.7
売上総利益	13,547	20.4	30.1	10,409	16.3
販管費	6,925	10.4	4.9	6,604	10.3
営業利益	6,621	10.0	74.0	3,804	5.9
営業外収益	1,149	1.7	1.1	1,137	1.8
営業外費用	266	0.4	▲52.8	563	0.9
経常利益	7,505	11.3	71.4	4,378	6.8
特別利益	845	1.3	—	—	0
特別損失	254	0.4	61.8	157	0.2
税引前利益	8,096	12.2	91.8	4,220	6.6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4,921	7.4	89.9	2,592	4.0

■売上高 前年同期比 3.5%増

充填事業、機械製作事業の販売伸長を受け増収。

■営業利益 前年同期比 74.0%増

固定費削減、エネルギーコスト
良化等を受け増益。

■経常利益 前年同期比 71.4%増

営業利益の大幅な増加に加えて
持分法投資利益の増加も貢献し
増益。

■純利益 前年同期比 89.9%増

特別利益として投資有価証券
売却益、関係会社株式売却益を
計上。

連結貸借対照表



単位：百万円、%

	2016年9月末		2016年3月末		2015年9月末	
		構成比		構成比		構成比
売上債権	29,468	22.6	26,385	20.0	28,682	21.7
棚卸資産	8,843	6.8	8,694	6.6	9,086	6.9
有形固定資産	60,924	46.8	62,553	47.4	63,628	48.0
総資産	130,106	100.0	132,101	100.0	132,445	100.0
仕入債務	19,391	14.9	18,245	13.8	18,571	14.0
短期借入金	11,962	9.2	11,623	8.8	16,744	12.6
長期借入金	33,823	26.0	37,175	28.1	34,876	26.3
純資産	49,678	38.2	49,597	37.5	48,602	36.7

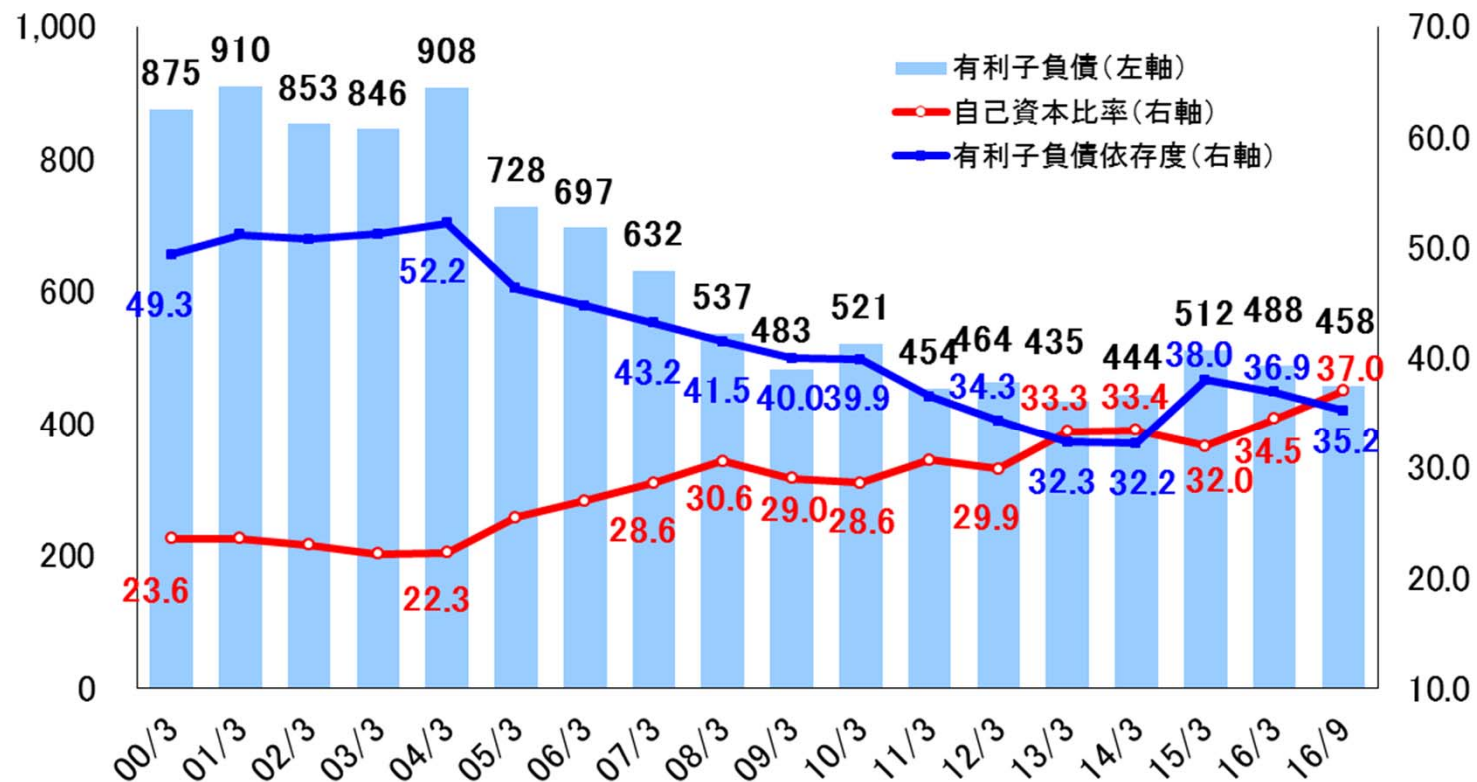
- 自己資本比率は前期末比で2.5%増加し37.0%
2000年の連結決算開始以来、過去最高を記録

連結有利子負債の推移



単位：億円

単位：%



有利子負債依存率は前期末比で1.7%低下し35.2%

連結キャッシュフロー計算書



	2016年9月期	2015年9月期
営業活動によるキャッシュフロー	7,650	6,410
投資活動によるキャッシュフロー	1,086	▲8,325
財務活動によるキャッシュフロー	▲7,573	2,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲35	▲10
現金及び現金同等物の増減額	1,126	327
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	87
現金及び現金同等物の期末残高	3,282	1,344

単位：百万円

- 営業キャッシュフローは純利益、減価償却費、売上債権の増加に伴う資金の減少、仕入れ債務の増加に伴う資金の増加、法人税等の支払が主な増減要因
- 投資活動キャッシュフローは有形固定資産の取得、関係会社株式及び投資有価証券の売却収入が主な増減要因
- 財務活動キャッシュフローは長短借入金の支出/収入、子会社株式及び自己株式取得による支出が主な増減要因
- 現金及び現金同等物は1,126百万円増加し、この結果、手元キャッシュは3,282百万円

連結設備投資



	2009/3	2010/3	2011/3	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	見通し
設備投資額	45	141	90	88	67	101	166	77	64
減価償却費	79	74	90	92	82	79	81	60	62

※2016/3減価償却費 固定資産償却方法を定率法から定額法へ変更

2017年3月期 予想

- 容器事業： プラスチック製品製造設備等 31億円
- 充填事業： ペットボトル及びボトル缶充填関連設備等 32億円
- 海外事業： インドネシア、ベトナム充填関連設備 1億円

[参考] 経営成績

要約連結貸借対照表



単位：百万円、%

	2016年3月期		2015年3月期		2014年3月期	
		構成比		構成比		構成比
流動資産	42,728	32.3	41,963	31.1	51,171	37.0
預金・現金	2,155	1.6	930	0.7	2,459	1.8
売上債権	26,385	20.0	28,305	21.0	34,233	24.8
棚卸資産	8,694	6.6	9,159	6.8	10,096	7.3
固定資産	89,373	67.7	92,857	68.9	87,003	63.0
有形固定資産	62,553	47.4	64,732	48.0	61,748	44.7
総資産	132,101	100.0	134,820	100.0	138,175	100.0
流動負債	40,123	30.4	45,500	33.7	50,242	36.4
仕入債務	18,245	13.8	19,465	14.4	27,300	19.8
短期借入金	11,623	8.8	14,084	10.4	11,422	8.3
固定負債	42,381	32.1	42,308	31.4	38,152	27.6
長期借入金	37,175	28.1	37,164	27.6	33,011	23.9
負債合計	82,504	62.5	87,808	65.1	88,395	64.0
純資産	49,597	37.5	47,012	34.9	49,780	36.0

要約連結損益計算書



単位：百万円、%

	2016年3月期		2015年3月期		2014年3月期	
		前期比		前期比		前期比
売上高	119,923	▲21.6	152,931	▲9.9	169,714	1.6
売上原価	102,559	▲26.2	138,942	▲8.8	152,306	2.4
売上総利益	17,364	24.1	13,989	▲19.6	17,407	▲4.4
販管費	12,771	▲3.1	13,173	▲3.4	13,641	2.8
営業利益	4,593	462.8	816	▲78.3	3,765	▲23.7
営業外収益	1,846	21.2	1,523	▲1.0	1,539	▲15.0
営業外費用	706	2.9	686	3.1	665	▲15.1
経常利益	5,732	246.9	1,652	▲64.4	4,639	▲22.2
特別利益	1,964	1,344.1	136	338.7	31	244.4
特別損失	1,830	▲70.8	6,257	559.3	949	▲0.6
税引前利益	5,867	-	▲4,468	-	3,722	▲25.8
純利益	3,384	-	▲4,805	-	1,966	▲35.4

要約連結キャッシュフロー計算書



単位：百万円

	2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	12,953	7,756	9,710
税引前当期純利益	5,867	▲4,468	3,722
減価償却費	6,030	8,120	7,884
支払利息	451	376	445
有形固定資産除売却損益	459	251	331
売上債権の増減額	2,235	5,937	2,744
棚卸資産の増減額	641	974	▲383
仕入債務の増減額	▲1,536	▲7,847	▲1,767
投資活動によるキャッシュフロー	▲12,089	▲15,138	▲9,743
有形固定資産の取得による支出	▲11,420	▲13,503	▲8,186
有形固定資産の売却による収入	25	3	0
財務活動によるキャッシュフロー	305	5,706	673
短期借入金の純増減額	▲3,069	2,935	▲546
長期借入金の純増減額	563	3,847	1,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲32	63	101
現金及び現金同等物の増減額	1,137	▲1,611	741
現金及び現金同等物の期末残高	2,155	930	2,459

[参考] 会社概要

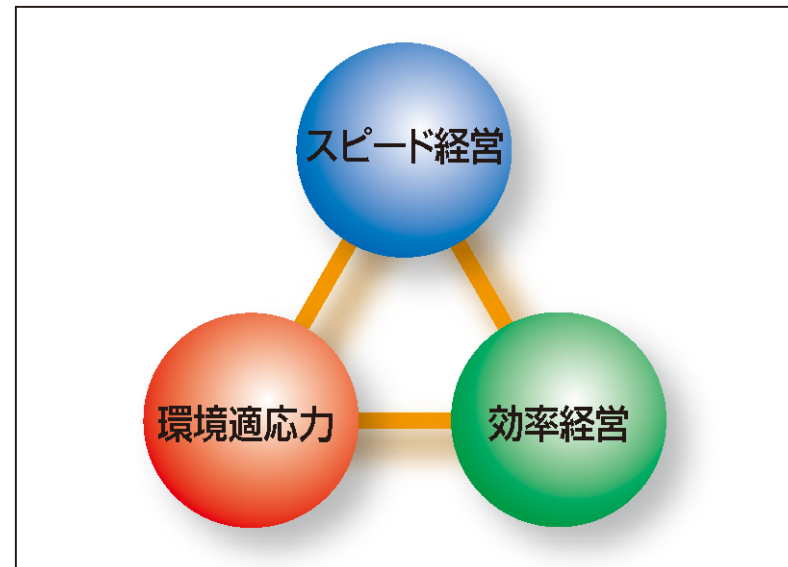
プロフィール



商号	ホッカホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
代表取締役社長	工藤 常史
創業年月日	大正10年10月23日
資本金	110億86百万円
事業概要	(1) 容器事業 (2) 充填事業 (3) 機械製作事業 (4) その他
株式	東証一部・札証 (証券コード: 5902)
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号



昭和20年代の北海製罐
製造の金属缶



1. 容器・充填・機械製作を通じて社会・文化に貢献する事をグループのアイデンティティとしかつ、スピード感に溢れ、透明性の高い連邦型経営を推し進める事によりグループ企業価値・株主価値の最大化を図る。
2. 品質本位に最善の努力を行い、最高の商品を提供する企業グループとして特長ある技術・ビジネスモデル等の開発に努め、かつ、地球環境を大切とし広く社会・経済の発展に寄与する。

本社と各社工場



● ホッカンホールディングス 東京都

● 北海製罐

北海道	小樽工場 (昭和製器)
群馬県	明和工場 (日東製器)
	千代田工場
	東都成型
埼玉県	岩槻工場
	中央研究所
東京都	コスメサイエンス
滋賀県	滋賀事業所
インドネシア	ホッカン・インドネシア
タイ	ホッカン・タイ

● 日本キャンパック

群馬県	第一工場
	第二工場
	赤城工場
	利根川工場
埼玉県	くじらい乳業
岐阜県	西日本キャンパック
マレーシア	日本キャンパック・マレーシア
ベトナム	日本キャンパック・ベトナム

● オーエスマシナリー

北海道	小樽工場
群馬県	群馬工場
静岡県	KE・OSマシナリー



日本キャンパック 利根川工場



OSマシナリー 群馬工場



北海製罐 岩槻工場

沿革

- 1921年 北海製罐倉庫（株）創立 資本金100万円、本社小樽
- 1941年 製缶業者8社大合同により新たに東洋製罐（株）設立（旧北海製罐倉庫（株）は小樽工場となる）
- 1950年 企業再建整備計画により小樽工場およびその附属設備を分離し北海製罐（株）を設立 資本金5,000万円
本社は東京に設立 東京証券取引所に上場
小樽電解工業(株) 設立（現昭和製器(株)）
- 1954年 東都成型(株) 設立
- 1960年 日東製器(株) 設立
- 1971年 北海製罐 岩槻工場竣工
- 1973年 (株)日本キャンパック 設立、翌年第1工場竣工
- 1974年 (株)小樽製作所 設立（現オーエスマシナリー(株)）
- 1985年 (株)ワークサービス 設立
- 1988年 日本たばこ産業(株)と共同出資にて飲料充填会社である(株)ジェイティキャンピングを設立
（2002年に連結子会社とし、社名を(株)西日本キャンパックへ変更）
- 1989年 北海製罐 千代田工場竣工
日本キャンパック 第2工場竣工
- 1997年 日本キャンパック 赤城工場竣工
日本キャンパック マレーシア設立
- 2005年 会社分割による純粋持株会社へ移行
三菱マテリアル(株)と共同で飲料用アルミ缶製造・販売会社であるユニバーサル製缶(株)設立
- 2006年 日本キャンパック 利根川工場竣工
- 2007年 キアンジュ・キャンパック ベトナム設立
- 2010年 日本キャンパック 利根川工場第2ライン竣工
- 2011年 PT.ホッカインドネシア 設立
- 2012年 KE・OSマシナリー設立
キアンジュ・キャンパック・ベトナムを子会社化 日本キャンパック・ベトナムへ名称変更
- 2013年 ホッカイン・タイ設立
株式会社コスメサイエンスを子会社化
- 2014年 くじらい乳業株式会社を子会社化
- 2015年 日本キャンパック第1工場 新ライン竣工
PT. ホッカインドネシア 第2ライン竣工



昭和30年代の北海製罐
函館工場と北洋漁業風景

注意事項



当資料に記載された内容は、2016年12月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身でなされるようお願い致します。

お問合せ先：

ホッカンホールディングス株式会社

常務取締役 山崎 節昌

TEL：03-3213-5111